

3か月持続型チュアブルタイプ
犬用ノミ・マダニ駆除薬(有効成分 フルララネル)

ブラベクト[®]錠

3か月持続型スポットタイプ
猫用ノミ・マダニ駆除薬(有効成分 フルララネル)

ブラベクト[®] スポット 猫用

ブラベクト[®] 公式サイト

獣医師の皆さま向けの資料の他、
ブラベクト[®]の最新情報が公開されています。

www.bravopets.jp



お問い合わせ先

株式会社インターベット 東京都千代田区九段北1-13-12 TEL 03-6272-0860 FAX 03-6238-9080

製造販売元(輸入発売元)

株式会社インターベット 茨城県かすみがうら市深谷1103

JP/BRV/0518/0029



BRAVECTO[®]

EXPECT THE EXTRAORDINARY

獣医師向け資料

3 HAPPY 3 MONTHS.
1回投与で、効き目3か月。



ノミ・マダニ駆除薬は 3か月に1回の新時代へ。

ブラベクト[®]錠

動物用医薬品

ブラベクト[®] スポット 猫用

動物用医薬品



犬にも、猫にも「3か月」の安心を。

ブラベクト®は、1回の投与でノミ・マダニの駆除効果が3か月続きます。

2014年に犬用ノミ・マダニ駆除薬 ブラベクト®錠が発売されてから、ブラベクト®は世界中の獣医師および愛犬家に、その高い有効性と安全性を評価いただいています。

日本では、2015年のブラベクト®錠発売に続き、2018年からは猫用のブラベクト®スポット猫用が発売となりました。



HAPPY 3 MONTHS.

1回投与で、効き目3か月。

ブラベクト®は、唯一1回の投与で3か月間、途切れることなくノミ・マダニの駆除効果が続くことで、投与忘れを防ぎ、獣医師の先生方と飼い主様に安心をお届けします。

3か月持続型チュアブルタイプ
犬用ノミ・マダニ駆除薬(有効成分 フルララネル)

ブラベクト[®]錠



製品特長

1回の投与で効き目3か月持続

- ✓ 毎月の投与から解放されて、犬のストレス軽減
- ✓ 3か月に1回の投与で、オーナー様の手間が省けてより簡単に

有効成分が血液を介して全身に広がり、速く、確実に効く

※有効成分「フルララネル」は、安全性の高いイソキサゾリン系化合物です。

おいしいチュアブルタイプ (ポーク風味)

製品規格

■ 体重別投与量

体重	フルララネル含有量
2.0 - 4.5kg	112.5mg
>4.5 - 10 kg	250mg
> 10 - 20 kg	500mg
> 20 - 40 kg	1000mg

■ 原寸大

ブラベクト[®]錠 112.5mg ブラベクト[®]錠 250mg



ブラベクト[®]錠 500mg ブラベクト[®]錠 1000mg



ブラベクト[®]錠はおいしいポーク味のチュアブルで、簡単に楽しく投薬が可能です。

※加水分解されたポークフレーバーを使用しています。

3か月の安心:ブラベクト[®]錠

ブラベクト[®]錠なら、ノミ・マダニへの速効性が3か月間続くので、投与忘れの頻度を減らし、投薬コンプライアンスの向上に役立ちます。

ノミ・マダニ^{*}への速効性 ^{*}*Ixodes ricinus*

- ノミに対しては3か月間、8時間以内にほぼ100% (98%~100%) 駆除します。
- 既に寄生しているマダニに対しては、投与後4時間で89.6% 駆除します。新たな寄生に対しては3か月間、12時間以内にほぼ100% (98.3~100%) 駆除します。

出典:Wengenmayer, et al., Parasites & Vectors, 7:525,2014

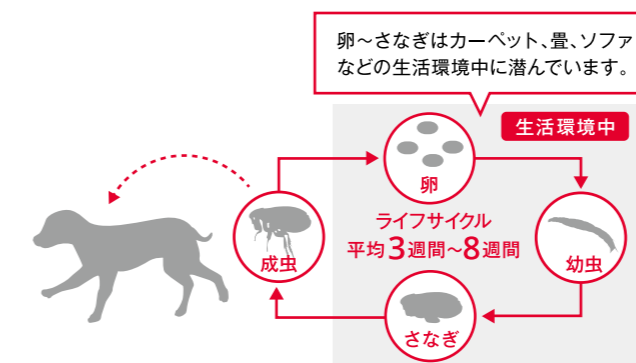


出典:社内資料

ノミのライフサイクルを断ち切ります

- ノミのライフサイクルは、平均3~8週間とされています。ノミの卵やさなぎはカーペットや畳、ソファなどに潜んでいますので、ノミの根絶には、少なくとも連続2か月間駆除する必要があります。ブラベクト[®]錠なら、1回投与で3か月間駆除効果が続きます。

- ブラベクト[®]錠の1回投与で環境中のノミを根絶した結果、ノミアレルギーの症状も改善されました。 参考文献:P.Fisara, et al., Vet Dermatol, Vol.26, 4, 307, 2015



犬に対する高い安全性

ブラベクト[®]錠(有効成分フルララネル)は、昆虫類への高い選択毒性を持つ反面、哺乳類に対する高い安全性が確認されています。海外で2014年に発売以来、すでに世界中で、のべ6千万頭以上に処方(販売量より推定)されており、その臨床実績からも安全性が評価されています。

繁殖安全性

■ ブラベクト[®]錠は雄犬の精子、交配成績、出産成績には影響しませんでした

ブラベクト[®]錠の繁殖安全性を確認するために、フルララネルとして168mg/kg(臨床最大用量56mg/kgの3倍量)を、繁殖に用いる20頭の犬(オス:10頭、メス:10頭)に8週間隔で計3回以上経口投与しました。オスについては交配の約8週間前から投与を開始、メスへの投与は交配の4週間前から開始し、出産を経て授乳期にまで及びました。その結果、精子評価、交配成績、出産成績ならびに産子犬にブラベクト[®]錠による影響は認められませんでした。

副作用発生状況

■ 副作用発生率は0.01%~0.1%

ブラベクト[®]錠は2014年4月に海外で発売が開始されて以来、規制に基づき世界中から副作用の報告がなされております。規制当局の世界的な定義により、ブラベクトに関するすべての有害事象の発生率は「まれ」と分類されており、有害事象の発生率は1/10,000(0.01%)~1/1,000(0.1%)です。もっとも一般的に報告されている症状は一過性の消化器症状であり、添付文書に記載されている通りです。日本では、2015年の発売以来の有害事象発生率は約0.1%であり、用法・用量の通りに使用した場合の安全性が評価されています。

症状別副作用発生状況

■ 国内外で報告された副作用の多くが軽度かつ一過性の消化器症状でした

国内で報告された副作用の症状別内訳は、嘔吐76%、下痢または軟便6%、嘔吐および下痢4%、元気または食欲低下3%で、ほとんどが無処置あるいは対症療法にて回復した一過性の症状でした。

出典:社内資料

MDR1遺伝子欠損型コリー種における安全性

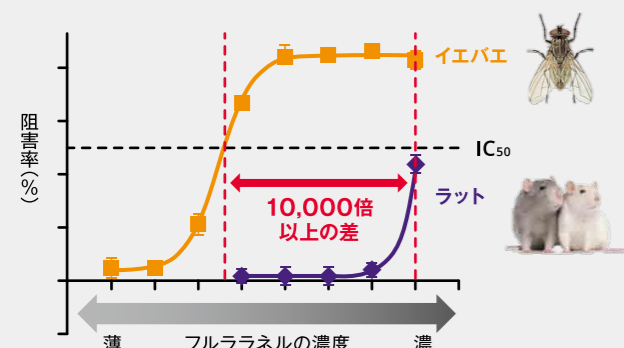
■ ブラベクト[®]錠はMDR1遺伝子欠損型コリー種に安全に使用できました

遺伝子学的検査によりMDR1遺伝子欠損が確認されたコリー犬8頭にフルララネルとして168mg/kg(臨床最大用量56mg/kgの3倍量)を経口投与し、その後28日間にわたり観察を行ったところ、神経症状あるいはブラベクト[®]錠の投与に関係すると考えられる有害事象は認められませんでした。

参考文献: Safety of fluralaner, a novel systemic antiparasitic drug, in MDR1(-/-) Collies after oral administration. F.M.Walther, et al.

ブラベクト[®]錠のサイエンス

昆虫のGABA受容体に対する選択的阻害



節足動物と哺乳類におけるフルララネルの親和性 (イエバエとラットの比較)

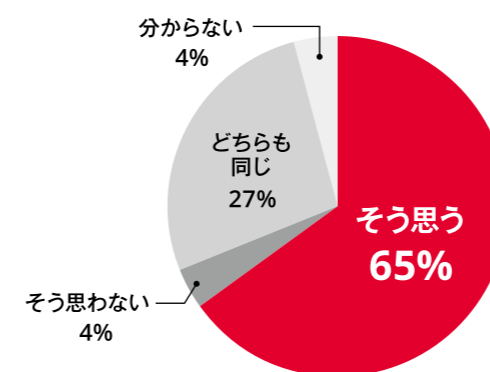
昆虫のGABA受容体への阻害活性は、哺乳類のGABA受容体への阻害活性の10,000倍以上。哺乳類に対する安全性は高く、昆虫類への高い選択毒性を持ちます。

参考文献: The antiparasitic isoxazoline A1443 is a potent blocker of insect ligand-gated chloride channels. Ozoë Y et al.

ブラベクト[®]錠は、より確実により長く、愛犬をノミ・マダニから守ります

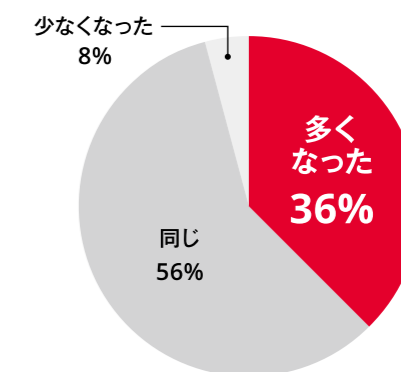
米国において、飼い主様約600人を対象に実施されたアンケート調査の結果、3か月に1回の投与により、飼い主様の投薬コンプライアンスが改善され、年間予防月数が延びるとの報告があります。

■ 毎月投与する製剤より、ブラベクト[®]錠の方が予定通り投与できますか？



投薬コンプライアンスの改善

■ ブラベクト[®]錠を使用することで、犬がノミ・マダニから防御される月数について



予防月数の延長

出典: Lavan et al. J Vet Sci Technol 2017, 8:439



3か月持続型スポットタイプ
猫用ノミ・マダニ駆除薬(有効成分フルララネル)

ブラベクト® スポット 猫用



製品特長

1回の投与で3か月間効果が持続

- ✓ 毎月の投与から解放されて、猫のストレス軽減
- ✓ 3か月に1回の投与で、オーナー様の手間が省けてより簡単に

有効成分が血液を介して全身に広がり、速く、確実に効く

※有効成分「フルララネル」は、猫用としては日本初の安全性の高いイソキサゾリン系化合物です。

投与しやすいキャップ一体型ピペット

製品規格

■ 体重別投与量

体重	フルララネル含有量	製剤の液量
1.2 - 2.8 kg	112.5mg	0.4mL
>2.8 - 6.25kg	250mg	0.89mL
>6.25 - 12.5kg	500mg	1.79mL
> 12.5kg	適切なピペットの組み合わせ	

ブラベクト®スポット猫用 3か月の有効性

- 室内飼育でもノミ・マダニが寄生するリスクがあります。
- ブラベクト®スポット猫用なら、ノミ・マダニへの効果が3か月間続くので投与の手間も省け、猫のストレスも軽減します。

ノミ・マダニ*への速効性 *Ixodes ricinus

- 既に寄生しているノミに対しては、投与後8時間で100%駆除します。新たな寄生に対しては、1か月目は8時間、2および3か月目は12時間以内にほぼ100%(98.3~100%)駆除します。
- 既に寄生しているマダニに対しては、投与後8時間で92.7%駆除します。新たな寄生に対しては1か月目は12時間、2か月目は24時間、3か月目は48時間以内にほぼ100%(99.5~100%)駆除します。

出典:社内資料



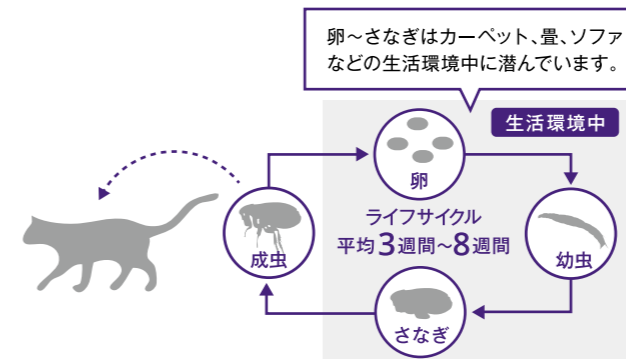
出典:社内資料

ノミのライフサイクルを断ち切ります

- ノミのライフサイクルは、平均3~8週間とされています。ノミの卵やさなぎはカーペットや畳、ソファなどに潜んでいますので、ノミの根絶には、少なくとも連続2か月間駆除する必要があります。ブラベクト®スポット猫用なら、1回投与で3か月間駆除効果が続きます。

- ブラベクト®スポット猫用の1回投与で環境中のノミを根絶した結果、ノミアレルギーの症状も改善されました。

参考文献: Meadows C., et al., Parasite & Vectors (2017) 10:37



猫のノミアレルギー性皮膚炎の例



ノミアレルギーによる激しい掻痒のため掻き崩した症例

猫に対する高い安全性

ブラベクト®スポット猫用(有効成分フルララネル)は、昆虫類への高い選択毒性を持つ反面、哺乳類に対する高い安全性が確認されています。

猫における安全性(経皮)

■ 最大用量の5倍量を8週間隔で3回投与

フルララネルとして465mg/kg(臨床最大用量93mg/kgの5倍量)を、11週齢の子猫に滴下投与した結果、本剤に関する有害事象は認められませんでした。

猫における安全性(経口)

■ 誤って経口摂取した場合でも、フルララネルによる副作用は特にありません

投与の際、誤って本剤を舐めたり、グルーミングによって滴下した本剤を舐める可能性を懸念して、経口摂取試験を行いました。

生後6~7か月齢の猫に、フルララネルとして93mg/kgを1回経口投与した結果、一過性の流涎や発咳、舌を噛む行動等が認められましたが、血液検査、組織学的検査において異常所見は認められませんでした。これらの症状は、溶剤による刺激が原因と考えられ、フルララネルに起因する所見は認められず、例えば本剤を経口摂取した場合でも、忍容性は良好であると判断されました。

国内野外臨床試験

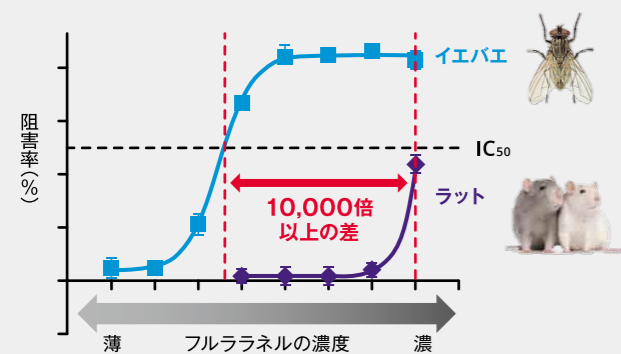
■ 国内臨床試験において、本剤に関する有害事象は認められませんでした

国内25施設において、60頭の猫に投与した結果、投与後3か月間にわたり、本剤に関する有害事象は認められませんでした。

出典:社内資料

ブラベクト®のサイエンス

昆虫のGABA受容体に対する選択的阻害



節足動物と哺乳類におけるフルララネルの親和性 (イエバエとラットの比較)

昆虫のGABA受容体への阻害活性は、哺乳類のGABA受容体への阻害活性の10,000倍以上。哺乳類に対する安全性は高く、昆虫類への高い選択毒性を持ちます。

参考文献: The antiparasitic isoxazoline A1443 is a potent blocker of insect ligand-gated chloride channels. Ozoe Y et al.

投与方法

ブラベクト®スポット猫用の容器は、キャップと本体が一体化したピペットです。(キャップは外れません)

1

ラミネート袋を点線に沿って手またははさみで切り、ピペットを取り出します。使用の直前に開封して、速やかに使用してください。

2

キャップを上にし、ピペットの下部を軽く持ちます。(この時ピペットの胴体部を強く持つとキャップを開けた時に液体が飛び出すことがあるので注意してください。)

3

キャップを左右どちらかの方向に1回転させます。

キャップは取り外せません。キャップの先から液体が出るようになっています。

4

猫の首~肩甲骨間の舐めにくい部分の被毛をかき分け、ピペットの胴体部を押しながら皮膚に直接滴下します。

5

滴下部分が完全に乾くまで、その部分を触らないようにしてください。(投与して1日程度) 滴下部分の毛並が気になる場合は、完全に乾いた後にブラッシングをして整えてあげてください。

※投与後3日間は、シャンプーや水浴等を控えてください。効果に影響する可能性があります。

※製品のデザインが実物と異なる場合があります。



ブラベクト錠 動物用医薬品

ブラベクト錠 112.5 mg
ブラベクト錠 250 mg
ブラベクト錠 500 mg
ブラベクト錠 1000 mg

ブラベクト スポット 猫用 動物用医薬品

ブラベクト スポット 猫用 0.4 mL
ブラベクト スポット 猫用 0.89 mL
ブラベクト スポット 猫用 1.79 mL

【本質の説明又は製造方法】

ブラベクト錠の主剤であるフルララネルは、合成イソキサゾリン系化合物である。フルララネルはγ-アミノ酪酸（GABA）作動性塩素イオンチャネルのアンタゴニストに分類され、節足動物のGABA作動性塩素イオンチャネルに作用し、塩素イオンの神経細胞流入を阻害する。その結果、抑制が効かなくなり、過度の興奮を起こすことでノミ及びマダニを死亡させる。

【成分及び分量】

販売名	有効成分（1錠中）
ブラベクト錠 112.5 mg	フルララネル 112.5 mg
ブラベクト錠 250 mg	フルララネル 250 mg
ブラベクト錠 500 mg	フルララネル 500 mg
ブラベクト錠 1000 mg	フルララネル 1000 mg

【効能又は効果】

犬に寄生するノミ及びマダニの駆除

【用法及び用量】

体重1 kgあたりフルララネル25 mgを基準量とし、体重別には下記のとおり犬に本剤を1錠経口投与（投与前後に少量の餌を与えること）又は湿潤投与する。なお、体重56kgを超える犬には、体重1kgあたりフルララネル25mgを基準量とし、錠剤を組み合わせて投与すること。

体重	ブラベクト錠の投与量（錠数）			
	112.5 mg錠	250 mg錠	500 mg錠	1000 mg錠
2 kg以上 4.5 kgまで	1			
4.5 kgを超え 10 kgまで		1		
10 kgを超え 20 kgまで			1	
20 kgを超え 40 kgまで				1

【使用上の注意】 （基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は、効能・効果において定められた目的のみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤の投与後は石けんで手をよく洗うこと。また、本剤は皮膚から吸収されるので、皮膚に付着した場合は直ちに水洗いすること。

（犬に関する注意）

- ・本剤は1回投与すると通常約3か月間新規のノミ及びマダニを駆除することができる。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・複数飼育の場合は、再寄生を最小限にするため、全頭投与することが望ましい。
- ・本剤投与後6時間以内に嘔吐して本剤を完全又は一部を排出した場合は、本剤を再投与すること。

（専門的事項）

① 対象動物の使用制限

- ・本剤は8週齢未満の子犬又は体重2 kg未満の犬には投与しないこと。
- ・フルララネル又は添加剤にアレルギーのある犬には投与しないこと。本剤には添加剤としてフレーバー（豚肝臓及び醸造酵母由来）、トウモロコシデンプン、パモ酸ニナトリウム水和物及びダイズ油などを含む。

② 重要な基本的注意

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。
- ・本剤を反復投与する場合は12週間に1回を超えないようにすること。ただし、本剤の投与後約3か月以内に体重がおよそ2倍となるような成長期の犬に反復投与する場合には、寄生リスクを考慮して8週間に1回を超えないようにすること。
- ・繁殖に用いる犬、妊娠中あるいは授乳中の犬に対しては、国内で実施した臨床試験の症例に含まれておらず安全性が確認されていないため、該当する犬への投与に際しては、本剤の有効性及び安全性を十分に勘案した上で、投与の可否を慎重に判断すること。
- ・けいれんや嗜眠が副作用として報告されているので、てんかんの既往歴のある犬への投与に際しては、本剤の有効性及び安全性を十分に勘案した上で、投与の可否を慎重に判断すること。

③ 相互作用

- ・本剤は血漿蛋白結合率が高い薬剤であり、蛋白結合率の高い他の薬剤と併用すると血漿中の蛋白との結合において競合し、本剤又は競合する薬剤の血漿中遊離型濃度が変化し、それぞれの薬剤の有効性及び安全性に影響するおそれがあるので、併用する際は十分に注意すること。なお、蛋白結合率の高い薬剤としては、非ステロイド系抗炎症剤、ループ利尿剤や炭酸脱水素酵素阻害剤、一部のACE阻害剤及び抗凝固剤等がある。

④ 副作用

- ・本剤の投与により、ときに消化器症状（下痢、嘔吐、食欲不振又は流涎）がみられることがある。また、非常にまれにけいれんや嗜眠がみられることがある。
- ・本剤投与により、一部の動物でAST、ALT等の増加が認められることがある。

⑤ その他の注意

- ・本剤は、犬に寄生したノミ及びマダニを駆除する動物用医薬品であり、これらの寄生虫が媒介する疾病の伝播を阻止できるかについての検討は行っていない。

【貯法】

室温保存

【使用期限】

個装箱及びラベルに表示



【本質の説明又は製造方法】

ブラベクト スポット猫用は、フルララネルを主剤とする滴下用のノミ及びマダニ駆除剤である。フルララネルは、合成イソキサゾリン系化合物であり、γ-アミノ酪酸（GABA）作動性塩素イオンチャネルのアンタゴニストに分類され、節足動物のGABA作動性塩素イオンチャネルに作用し、塩素イオンの神経細胞流入を阻害する。その結果、抑制が効かなくなり、過度の興奮を起こすことでノミ及びマダニを死亡させる。

【成分及び分量】

本品1 mL中にフルララネル280 mgを含有する。

【効能又は効果】

猫に寄生するノミ及びマダニの駆除

【用法及び用量】

猫の肩甲骨間背部の被毛を分け、皮膚上の部位に直接次のピペット全量を滴下する。なお、体重12.5 kgを超える猫については、フルララネル40 mg/kgを基準量とし、適切なピペットを組み合わせて投与すること。

体重	容器サイズ
1.2 kgから2.8 kgまで	0.4 mLピペット1個全量
2.8 kgを超え6.25 kgまで	0.89 mLピペット1個全量
6.25 kgを超え、12.5 kgまで	1.79 mLピペット1個全量

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

（使用者に対する注意）

- ・使用時には手袋を装着することが望ましい。
- ・使用後はよく手を洗うこと。
- ・喫煙や飲食をしながら投与しないこと。

（猫に関する注意）

- ・本剤は猫の外用以外に使用しないこと。

（取扱い及び廃棄に関する注意）

- ・本剤には引火性のある溶剤を使用しているため、保管及び使用の際には火気を避けること。
- ・食品と区別し、小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・ラミネート包装は使用する直前に開封すること。また、開封後は速やかに使用すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・本剤の有効成分又は本剤に含まれる他の成分（フィート）に過敏症がある場合は使用しないこと。
- ・本剤投与後、完全に乾くまでは投与部位に直接触れないこと。また、投与したことを知らない人も触れないように注意すること。特に小児が、投与した猫に触れないように注意すること。
- ・本剤を使用した日は、投与した猫と一緒に寝ないこと。
- ・本剤が皮膚に付着した場合は、まれに発疹等があらわれることがあるので、石鹸を用いて水でよく洗い流すこと。また、目に入った場合には、直ちに流水中で洗い流すこと。
- ・誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・投与の際に本剤を床等にこぼした場合は、ティッシュペーパー、洗剤等を使って拭き取ること。

（猫に関する注意）

- ・本剤を反復投与する場合は12週間に1回を超えないようにすること。
- ・8週間よりも短い間隔で反復投与したときの安全性は確認されていない。
- ・本剤投与後は、投与部位が乾くまで、猫が投与部位に触れたり、舐めたりしないように注意すること。また、投与した日は、同居する猫や他の動物との接触を避けること。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（専門的事項）

① 対象動物の使用制限等

- ・本剤は1回投与すると通常約3か月間新規のノミ及びマダニを駆除することができる。
- ・本剤は11週齢未満の猫又は体重1.2 kg未満の猫には投与しないこと。
- ・繁殖に用いる猫、妊娠中あるいは授乳中の猫に対する安全性は確認されていないので、投与しないこと。

② 重要な基本的注意

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、元氣・食欲不振、発熱、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常を認めた場合は投与しないこと。
- ・複数飼育の場合は、個体間でのノミ及びマダニの再寄生を最小限にするため、全頭投与することが望ましい。
- ・本剤投与後の猫の水浴あるいはシャンプーの影響については検討されていないが、本剤投与後3日間は、水浴あるいはシャンプーを控えることが望ましい。

③ 相互作用

- ・フルララネルは血漿蛋白結合率が高い化合物であり、蛋白結合率の高い他の薬剤と併用すると血漿中の蛋白との結合において競合し、本剤又は競合する薬剤の血漿中遊離型濃度が変化し、それぞれの薬剤の有効性及び安全性に影響するおそれがあるので、併用する際は十分に注意すること。なお、蛋白結合率の高い薬剤としては、非ステロイド系抗炎症剤、ループ利尿剤や炭酸脱水素酵素阻害剤、一部のACE阻害剤及び抗凝固剤等がある。ただし、犬の血漿を用いた試験では、フルララネルの血漿蛋白結合率は、カルボフロフェン及びワルファリンによって影響を受けなかった。
- ・薬理試験や臨床試験において、一般的に獣医療で使用されている薬剤と本剤との相互作用は認められていない。

④ 副作用

- ・海外で実施した臨床試験において、投与部位に軽度で一過性の紅斑、搔痒及び脱毛（2.2%）、投与直後の無関心、振戦及び食欲不振（0.9%）、嘔吐及び過流涎（0.4%）が認められた。
- ・本剤の臨床適用量の上限量（フルララネルとして93 mg/kg体重）を経口投与して実施した猫の安全性試験において、一過性の流涎、発咳及び舌を噛む行動が認められた。

⑤ その他の注意

- ・本剤は、猫に寄生したノミ及びマダニを駆除する動物用医薬品であり、これらの寄生虫が媒介する疾病の伝播を阻止できるかについての検討は行っていない。

【投与の方法】

ステップ1: ラミネート袋を開封してピペットを取り出す。ピペットの本体部分を持ち、上に向けた状態でキャップを1回転させて開封する（キャップはピペットに固定されているので外れない。開いた状態でチューブ本体を強く押し出す恐れがあるので注意）。

ステップ2: 投与しやすいため、猫は立たせるか、背中を水平にして座らせる。

ステップ3: 猫の肩甲骨間背部の被毛を分け、皮膚上の部位に直接ピペット全量を滴下する。体重6.25 kgを超える猫の場合には2か所に分けて投与すること。

【包装】

0.4 mL ピペット（フルララネルとして112.5 mg含有）
0.89 mL ピペット（フルララネルとして250 mg含有）
1.79 mL ピペット（フルララネルとして500 mg含有）

【貯法】

室温保存

【使用期限】

個装箱及びピペットに表示



